2012 年度 小委員会活動成果報告

（2013 年 1 月 25 日作成）

小委員会名	改修設計・改修工事小委員会	**主 査 名**：本橋健司 **就任年月**：2011　年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	材料施工委員会 （改修工事運営委員会）	**委員長名**：本橋健司 **主 査 名**：桝田佳寛
設　置　期　間	2011 年 4 月　～　2015 年 3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	建築物のスクラップアンドビルドの時代からストックの時代に移り、長寿命化が指向されるようになり、建築物の維持保全技術・改修技術の標準化の重要性がますます高まってきている。材料施工委員会では、躯体工事、防水工事、内外装工事などの標準仕様書 JASS を制定・改定するとともに、耐久・保全運営委員会のもとで耐久計画の考え方などを刊行してきたが、各運営委員会を横断した改修工事運営委員会を設置し、改修工事標準仕様書を制定する。 本小委員会は、改修工事標準仕様書（鉄筋コンクリート造建築物編）」の改修設計・改修工事について検討し、仕様書としてまとめる。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：有り 主　査：本橋健司（芝浦工業大学） 幹　事：黒田泰弘（清水建設） 　　奥石直幸（早稲田大学） 　　近藤照夫（ものつくり大学） 委　員：井上照郷（日本建築仕上材工業会）岡本肇（竹中工務店）小川晴果（大林組） 　　兼松　学（東京理科大学）久保田浩（大成建設）白井篤（東京家政学院大学） 　　鈴木史朗（都市再生機構）　永井香織（日本大学） 　　濱崎仁（独立行政法人建築研究所）　横山裕（東京工業大学）	
設置 WG （WG 名：目的）	躯体 WG：鉄筋コンクリート躯体の改修設計･改修工事の標準化に関わる検討	
2012 年度予算	100,000 円	**ホームページ公開の有無**： **委員会 HP アドレス**：

項　　目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	
大会研究集会	１. 2012 年度建築学会大会研究協議会にて改修工事運営委員会における研究活動を紹介し、議論を行った。
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	今までの建築学会における改修工事に関する出版物の整理、日本建築学会以外の改修工事仕様書の収集分析等を行い、今後の仕様書作成に向けた計画を検討した。また、建築学会大会時に研究協議会を開催し、活動の方向性について参考となる意見を得た。
委員会活動の問題点・課題	